

Zoom を活用する**コロナフリーのオンラインワークショップ**です。  
 実際に集まった方が効果的では?と言われることもあるワークショップ形式の講座ですが、  
**With コロナ時代**に求められる、**オンラインベースのコミュニケーション力を発揮したビジネスの重要性**が一気に高まったことをふまえ、完全オンラインで実施します。  
**質の高い講義、少人数グループのディスカッション、ビジネスアイデアの共創**を通じて、これからのリーダーに必要な資質と知識を習得できます。



**【日程】** 2020年10月～2021年2月  
**【定員】** 先着30名

- ✓ **イノベータのマインドセット**を学び、**事業開発の手法、事業化の力**を磨けます。
- ✓ 多様な人を巻き込みながら、**新規事業のアイデア出し**を数多く経験できます
- ✓ 異なる考え方を持つ人と議論し、**まとめるフロー**を繰り返し実践することで
- ✓ 自社の**部門間の合意形成**などに役立つ**ファシリテーション力**を習得できます
- ✓ **オンラインでのコミュニケーション力の向上、信頼関係の構築**を経験できます。



ファシリテータ  
池田 光穂 氏  
[大阪大学 教授]

第0回(10/2) オリエンテーション(進め方・Zoom操作方法・グループワーク等)



第1回(10/9)  
「リーンローンチパッドによる  
ゼロからの事業化手法」



第2回(11/13)  
「バイオデザイン -シリコンバレー流ニーズ発ヘルスケア・医療機器イノベーション手法」



第3回(12/11)  
「ビジネスモデルキャンバス  
でアイデアを事業化する」



第4回(1/22)  
「富士フィルム第二の創業における“業態転換”戦略、その新規事業創造の実態」

第5回(2/26) 最終発表 (第4回の最後に課題は発表)、審査・表彰

	仕掛け	育成する能力
ワークショップの流れ	・最新 <b>理論</b> 、 <b>事業開発</b> 、 <b>メソッド</b> に関する講義の受講	・事業を考える <b>洞察力</b> 、事業の <b>構想力</b> 、 <b>マーケティング力</b> 、最新の <b>理論</b> 、 <b>メソッド</b> による <b>ビジネスモデル構築力</b> 等
	・講義内容に関する <b>ディスカッション</b> ・少人数グループ(5、6名/グループ)でテーマに基づく <b>ディスカッション</b>	・自分の意見を <b>伝える力</b> ・異業種の参加者の意見を聞くことによる <b>視野の拡大</b> ・ディスカッションを通じて内容のより <b>深い理解</b>
	・グループ毎にまとめた <b>アイデアを発表</b> ・発表内容に対する講師、ファシリテータからの <b>フィードバック</b>	・技術の利活用等の新アイデアを生み出す <b>柔軟な発想力</b> ・議論した内容を <b>まとめる力</b> ・ <b>提案力</b> ・ <b>行動力</b> ・制限時間内に合意形成に導く <b>ファシリテーション力</b> ・ポイントを効果的に伝えるための <b>プレゼンテーション力</b> ・他グループ発表を聞くことによる <b>欠けていた視点の気づき</b>



# 1. ワークショップの概要

## 1.1 実施時期・実施回数

	日程	テーマ
第0回 オリエン テーション	10/2(金) 13:00-16:00	ワークショップの進め方、Zoom の操作方法、自己紹介、グループディスカッションなど
第1回	10/9(金) 13:00-18:00	「リーンローンチパッドによるゼロからの事業化手法」
第2回	11/13(金) 13:00-18:00	「バイオデザイン -シリコンバレー流ニーズ発ヘルスケア・医療機器イノベーション手法-」
第3回	12/11(金) 14:00-19:00	「“ビジネスモデルキャンバス”で、アイデアを事業化する」
第4回	1/22(金) 13:00-18:00	「富士フイルム第二の創業における“業態転換”戦略、その新規事業創造の実態」
第5回	2/26(金) 13:00-18:00	(最終報告会) 第4回の最後に発表したテーマに基づき、グループ毎に発表

## 1.2 実施内容

- ・オリエンテーション（ワークショップの進め方、Zoom の練習[基本、グループワーク]
- ・講義（各分野の有識者より最新理論の解説、事例、課題、今後の方向性等をレクチャー）
- ・グループディスカッション、発表（講義で得た基礎知識と活用事例をふまえ、設定したテーマ毎にグループディスカッションを行い、意見をまとめて発表）

\*今年度より本ワークショップは、大阪大学の全研究科を対象としたCOデザインセンターの授業として位置付けられ、大学院生数名からなるチームを1チーム程度構成予定です。イノベーションに対する意識の高い大学生と御社の社員が交わることで、相互に新鮮な知的刺激を受けられることが期待できます。

## 1.3 参加対象者と募集人数

- ・対象者：主に若手、リーダー、中堅社員（自社で参加にふさわしいと思われる方）
- ・募集人数：30名（定員に達し次第〆切）

## 1.4 参加費（税抜き）

- ・賛助会員：15万円/名
- ・非賛助会員：20万円/名

\*参加お申し込み後、請求書を送付いたします。

## 1.5 講義テーマと講師

次頁以降を参照

\*講師との調整により内容が若干変更となる場合があります。

## 講義テーマ

「リーンローンチパッドによるゼロからの事業化手法」  
 ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ (株)  
 代表取締役 堤 孝志 氏

## (講演概要)

ビジネスのアイデア段階や既存のビジネスを拡大して行く段階で、必須とも言える手法が「顧客開発モデル」。顧客開発モデルとは何か、なぜこの手法を取ることで新規事業の成功確率が高まるのか、具体的なプロセスは？実際の事例も交えながら手法を学ぶ。

- ✓ 新規事業で企画する製品へのニーズを製品開発前に検証する重要性とそのため手順と原則
- ✓ 顧客のジョブ (Jobs To Be Done) とその現況で製品への切実なニーズを見極める方法
- ✓ 新規事業に不可欠な試行錯誤を効率よく行うためのプロトタイプ (ミニマムバイアブルプロダクト、MVP) の考え方・作り方

## ～講師略歴～

事業化プロセスを活用してスタートアップの投資育成を行うシードアクセラレーターを運営する。総合商社、シリコンバレー及び国内の VC での通算 20 年以上にわたる新規事業の立ち上げとベンチャー投資の経験と、「顧客開発モデル」等の事業化手法の知見とをブレンドした経営支援が強み。東京理科大学工学部卒、McGill 大学 MBA、早稲田大学客員教授。訳書に「アントレプレナーの教科書」等がある。



第 1 回

## 講義テーマ

「バイオデザイン - シリコンバレー流ニーズ発ヘルスケア・医療機器  
 イノベーション手法」  
 大阪大学 大学院医学系研究科 招へい准教授  
 (一社)日本バイオデザイン学会 プログラムダイレクター  
 八木 雅和 氏

## (講演概要)

なぜ、技術主導でヘルスケア・医療機器開発を行うと失敗することが多いのか？また、今後、開発に失敗しないために、どのようなアプローチをとるべきなのかについて学ぶ。そして、起業、第三者割当増資実施等、成果が挙がり普及しつつあるジャパンバイオデザインのプログラムダイレクターとしての経験を踏まえ、ヘルスケア・医療機器イノベーション成功の鍵について述べる。

- ✓ ニーズ発ヘルスケア・医療機器イノベーション手法 バイオデザインとは？
- ✓ バイオデザインプロセスを用いたプロジェクトのリスク低減
- ✓ ヘルスケア・医療機器イノベーションに求められるマインドセット

## ～講師略歴～

2003 年に東京大学大学院工学系研究科 博士課程を修了後、大阪大学大学院歯学研究科 助手、歯学部附属病院講師を経て、2008 年に臨床医工学融合研究教育センター特任准教授に就任。2014 年にスタンフォードバイオデザイン グローバルファカルティ研修を修了後、ジャパンバイオデザイン立ち上げに参画し、2015 年にプログラムダイレクターに就任。2017 年には、大阪大学大学院医学系研究科 バイオデザイン学共同研究講座 特任准教授として参画した後、現職にてニーズ発医療機器イノベーションを実現する人材育成を展開中。



第 2 回

## 講義テーマ

### 「“ビジネスモデルキャンバス”で、アイデアを事業化する」

(一社)関西dラボ 代表理事 岡田 明穂 氏  
同 ファウンダー&ディレクター 伏見 明浩 氏

#### (講演概要)

アイデアは、ビジネスとしてのカタチ(構造)をまとわせないと、事業とはならない。この回では、今、世界中のイノベーター達の間で共通言語として認識され、わが国でも急速に普及が進んでいるビジネスの構造設計図『ビジネスモデルキャンバス』を使っての、ビジネスモデルデザインを学びます。



第  
3  
回

- ✓ ビジネスモデルキャンバスとは？
- ✓ ビジネスモデルキャンバスで、全体の構造-ビジネスモデルをデザインする
- ✓ バリュープロポジションキャンバスで顧客から学び、魅力的な価値を提案する
- ✓ 二つのキャンバスを連結させ、ビジネスモデルを進化させる

#### ～講師略歴～

##### 岡田明穂:

コンサルティングファーム、ベンチャー企業取締役を経て、現在、(一社)関西 d ラボ代表理事として、ワークショップ・コンサルティング等を通じて、関西のイノベーションを盛り上げるべく活動中。(一社)ビジネスモデルイノベーション協会理事も兼任し、ビジネスモデルキャンバスをはじめとしたイノベーション・メソッドの普及活動にも尽力している。中小企業診断士/ビジネスモデルイノベーション協会認定コンサルタント。

##### 伏見明浩:

大手メーカーにて商品開発・生産技術・品質管理に従事後、オフィスビズラボ開業。(一社)関西dラボファウンダー&ディレクター。製造業・IT系企業を中心に、数多くのイノベーション支援に携わる。中小企業診断士/ITコーディネーター/会計修士(専門職)/ビジネスモデルイノベーション協会認定コンサルタント/Strategyzer 社ビジネスモデル・キャンバスマスタークラス修了。

### 「富士フィルム第二の創業における“業態転換”戦略、その新規事業創造の実態」

富士フィルム(株) R&D 統括本部  
イノベーション アーキテクト 中村 善貞氏

#### (講演概要)

急速なデジタル化により、写真フィルムという高収益基幹事業の喪失に直面した富士フィルムが、どのような戦略のもとに新たな事業を創造してきたのか。化粧品という異分野の新規事業の立ち上げの中心にいた講師に、その“業態転換”の実態と新規事業創出を語って頂く。

- ✓ アンゾフのマトリックス(市場を守る破壊的技術の取り込み、技術を活かす、技術の再定義と顧客との共創)
- ✓ 新規事業に必要な Must/Can/Will とローリスク・ハイリターン戦略
- ✓ 新規事業創出に必要な 4 つの必要条件とやり続ける意思



第  
4  
回

#### ～講師略歴～

1984年、京都大学大学院工学研究科終了後、富士写真フィルムに入社。写真材料用素材ならびに商品開発に携わる。2002年、新規事業開発本部にて新規事業・新商品開発を担当。2006年、ライフサイエンス研究所にて機能性化粧品開発リーダーに就任、「アスタリフト」の製品・事業開発を牽引する。

現在はさらなる新規事業創出のため、研究所での新規プロジェクト推進と、全社のイノベーション普及・教育を担当。

第  
5  
回

#### ・最終発表

与えられたテーマに基づいてディスカッションし、グループ毎に発表。各グループ及び企業経営者等を交えた審査、講評を行い、優秀賞、審査員賞等を授与。また、最後には、本ワークショップに参加した感想を各自が発表。

## ファシリテータについて：

池田 光穂 氏（大阪大学 CO デザインセンター長・教授）

最終学歴：大阪大学 大学院医学研究科 博士課程単位取得済退学

職歴：1992.4 東日本学園大学(北海道医療大学)教養部助教授

2002.10 熊本大学 文学部教授(文化表象学)

2005.4 大阪大学 コミュニケーションデザイン・センター(CSCD)教授

2015.8 大阪大学 CSCD 教授・センター長(～2016.6)

2016.7 大阪大学 CO デザインセンター 副センター長・教授(～2020.3)

2020.4 大阪大学 CO デザインセンター長・教授(現在)

専門：中央アメリカの民族誌学と医療人類学。CSCD では、専門的知識をもつ者ともたない者の間、利害や立場の異なる人々をつなぐコミュニケーションの回路の構想・設計・実践を目指して、「現場力」をテーマに、「対話重視」で各種取組みを展開。



## 1.6 各回の基本的なスケジュール

第0回 オリエン テーション	実施項目	講師
13:00～ 16:00	ワークショップの進め方、Zoom 練習 (基本操作、グループワーク等)	ファシリテータ

第1回	実施項目	講師
10:00	オリエンテーション	ファシリテータ
11:30	昼食（弁当を事務局で準備）	昼食をとりながら自己紹介
13:00	講義（前半）	講師・（ファシリテータ）
13:45	ディスカッション・発表（1）	ファシリテータ
15:00	講義（後半）	講師・（ファシリテータ）
15:45	ディスカッション・発表（2）	ファシリテータ
18:00	終了	

第2～4回	実施項目	講師
13:00*	講義（前半）	講師・（ファシリテータ）
13:45	ディスカッション・発表（1）	ファシリテータ
15:00	講義（後半）	講師・（ファシリテータ）
15:45	ディスカッション・発表（2）	ファシリテータ
18:00	終了	

\*第3回のみ、14:00～19:00の予定です。

第5回	実施項目	講師
13:00	最終発表に向けての グループディスカッション	ファシリテータ
15:30	最終発表（プレゼンテーション）	ファシリテータ、審査員
17:30	表彰式、修了式	最優秀賞、審査員特別賞授賞、修了証授与
18:00	終了	

## 2. 受講方法

- Zoomを使用します。初めてZoomを利用される場合は事前にZoomのソフトをインストールして使用できるように準備をしてください。インストールは無料です。
- 接続テストは、Zoomの公式サイトで事前に実施してください。( <http://zoom.us/test> )
- Zoomを使用できるPCをご用意下さい。(低速の通信回線、低スペックのPCは避けて下さい)
- お申し込み頂いた方には、受講用のURLを後日メールでご案内します。
- 1つのお申し込みに対して、1名のみが受講いただけます。

## 3. お申し込み方法

- 別紙の参加申込書に記入の上、事務局あてに、EメールもしくはFAXでお送り下さい。
- 30名の定員となりますので、お早めにお申し込み下さい。
- グループワークの性格上、できるだけ同一の方が5回を通じてご参加ください。

## 4. 募集期間と受講のご連絡

- 応募締切り：2020年9月24日(木) \*定員に達し次第、締め切ります。
- 受講の連絡：お申し込みを受け取り後、事務局からご連絡いたします。

## 5. 参加申込み先およびお問い合わせ先

一般財団法人 大阪科学技術センター イノベーション推進室 (担当：篠崎)

E-mail: [innovation@ostec.or.jp](mailto:innovation@ostec.or.jp) FAX 番号：06-6131-4754

### 受講者の声

- ✓ ディスカッションを通じて自分の考え方の狭さを認識し、枠を超えた自由大胆な発想を行うことの重要性を理解できた。
- ✓ 異業種メンバーとのディスカッションで、会社で設計担当の自分が顧客目線でニーズを捉えられていないことに気付けた。
- ✓ ディスカッションを通じて新しいアイデアが生まれる体験をし、自分で考えるだけでなく、メンバーの意見を引き出す意識が生まれた。
- ✓ ビックデータ解析を進める事で不良解析が可能となり、将来的に検討しているスマート生産のイメージを持つ事が出来た。
- ✓ バックグラウンドの異なる他業種からの優秀な参加者から意見を聞くことによる異なる発想での知識の吸収、視野の拡大ができた。
- ✓ 「様々な意見を持った人と議論をする」ということに少し慣れたので、ユーザとの打合せでも、ユーザの意見を最初から否定せずに、聴くことができるようになった。
- ✓ 新規取組みの初期段階で、自らが先頭に立って、メンバーを集めディスカッションを行う場面で、ディスカッションの進め方など、今回の経験が生きた。
- ✓ 新しいことをやってみようという音頭を取ることに抵抗がなくなった。
- ✓ 堅苦しくなくリラックスした雰囲気で大変良かった。次回も弊社から参加を勧めたい。

### <これまでの参加企業> (敬称略・五十音順・参加当時の社名)

エネゲート/大阪ガス/大阪ガスケミカル/大阪冶金興業/沖電気工業/金井重要工業/カネカ/川崎重工業/関西電力/関電システムソリューションズ/近鉄グループホールディングス/きんでん/栗本鐵工所/KDC/最上インクス/三信建築設計事務所/GS ユアサ/JRC/ジェイテクト/島津ビジネスシステムズ/神鋼環境ソリューション/新コスモス電機/親和運輸/住友電気工業/積水インテグレート/リサーチ/積水化学工業/善友金属/ゼンユー/ソフトウェアエンジニアリング/大日本除虫菊/ダイヘン/太陽刷子/タカラベルモント/タクマ/竹中工務店/椿本チエイン/TOA/東西化学産業/東洋紡/中尾フィルター工業/ナルックス/日本カタン/日本ピラー工業/日本触媒/日本ネットワークサポート/日本バルカー工業/パナソニック/日立製作所/日立造船/富士インパルス/フジキン/古野電気/ホンダエンジニアリング/ミツワフロンテック/村田機械/メタウォーター/モリタ製作所

### 個人情報の取扱いについて

・本ワークショップへのお申し込みにあたり、個人情報保護のため、(一財)大阪科学技術センターが、適切に取り扱います。  
・ご記入頂いた個人情報は、本ワークショップの運営・管理等に関するご連絡及び当財団の関連事業等のご案内以外には使用致しません。個人情報の取扱いは、当財団の「個人情報保護規程」に従って対応いたします。

# ネクストリーダー育成ワークショップ

テーマ：「イノベーションと事業創造」

## 参加申込書

E-Mail:innovation@ostec.or.jp または FAX:06-6131-4754

(大阪科学技術センター イノベーション推進室 篠崎宛)

**申込締切日：2020年9月24日（木）まで**

### 【お申し込みにあたっての留意事項】

- ・原則、全日程へのご参加がお申し込みの条件となります。
- ・お申し込み後、事務局より簡単な事前アンケートを実施させていただきます。

機関名：		
所在地：〒		
TEL：（        ）                      —                      FAX：（        ）                      —		
氏名	所属・役職	メールアドレス

※ご連絡頂いた個人情報は、本ワークショップの運営・管理等に関するご連絡及び当財団の関連する事業等のご案内以外には使用致しません。